



ロン D. バートン  
2013-14年度国際ロータリー会長



# 高砂

No.6

*Takasago Rotary Club*

週報

### クラブ会長方針

#### 【目 標】

- ・親睦を深め会員ご家族とのお付き合い
- ・ロータリークラブを今一度考えなおし、各委員会活動への理解を得る
- ・ロータリークラブの地域へのアピール

## 例 会 記 録 (2013. 8. 9 (金)) 通算2,953回

- ◆開 会
- ◆唱 歌 ロータリーソング (我等の生業)
- ◆「四つのテスト」唱和

### ◆プログラム予定

8月16日 (金)	8月23日 (金)	8月30日 (金)	9月6日 (金)
休 会 (定款第6条第1節(C)による)	クラブアッセンブリー ガバナー補佐訪問 ガバナー補佐 大西信良氏 (加古川平成RC)	卓話 「会員増強・拡大について」 脇谷政孝会員	クラブアッセンブリー ガバナー公式訪問 ガバナー 大室 備氏

## ◆出席報告

本日 8月 9日 会員数48名 出席者36名 出席率87.80%  
前々回 7月26日 会員数49名 出席者40名 出席率97.56%

## ◆MAKE-UP

桂田 重信会員 e-CLUB 8月7日(8月9日)  
田代 和幸会員 e-CLUB 8月7日(8月2日)

## ◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

片嶋 純雄会長……本日は卓話させていただきます。

中木村 明会員……出席100%2年の祝を頂きありがとうございます。

名島 一成会員……家内の誕生日祝を頂きありがとうございます。

## ◆幹事報告(2,953回)

○ガバナー事務所

「ロータリー情報冊子」7月末日をもって実費分譲終了のお知らせが届いています。

○BAN-BANガイド「暑中見舞い」名刺広告掲載誌が届いています。

○NPO法人姫路地区手をつなぐ育成会「じろはったん記念日」実行委員会より

10月12日(土) 2時～ 姫路市文化センター

チケット 2,000円(販売8月末日)

協賛依頼 法人1口 3万円 個人1口 1万円

※例会変更

高砂青松RC 8月28日(水) → 早朝職場例会 午前6時30分～

9月 4日(水) → 9月1日(日) 移動例会マーチング・イン・高砂  
場所：高砂市総合体育館

9月11日(水) → 9月13日(金) 午後12時30分～  
高砂RCとの合同例会

○公益財団法人ひょうご子どもと家庭福祉財団より、「サマープログラム募金」のお礼状が届いています。

## ◆会長の時間

先日高砂の「社会を明るくする運動」の推進委員会に出席して参りました。第63回を数えるようですが、今回の様な委員会を開くのは初めてだそうです。多くの組織がこの推進委員会の協力されているのですが、登市長も来られて挨拶されておりました。今高砂には「社会を明るくする運動」の推進委員会のパトロール車が7台に増えて市内



片嶋純雄会長

を回っているそうです。そして今後、防犯灯の設置や防犯カメラの設置が検討されておりますが、高砂ではプライバシーを前面に出されてくる方もいらっしゃるようで、困難な面も有ろうかとの事でした。

「社会を明るくする運動」は、戦後の戦災孤児に対しての支援として始まったそうです。昭和24年に、非行少年や犯罪者の立ち直りの支援と、犯罪の予防を目的に犯罪者予防更生法が施行されました。これによって更生保護制度が新しくスタートしましたが、戦後の荒廃した世の中で、街にあふれた子供たちの将来を危惧して、東京銀座の商店街の有志がこの法律の趣旨に共鳴して、銀座フェアを開催し、寄付をされ、社会に広めていかれたのが最初だそうです。ただ委員会は高砂にも存在したようですが、何か一部の方が頑張っておられたような印象を受けました。委員会が開かれたのは今回が最初になっております。高砂の各地区の保護司の方々が中心になり、今後広めていくきっかけをされた事と思います。お手元に一部ですが、コピーを配っております。犯罪を犯した人は、ほとんど刑期の半分を終えると、身元保証人が存在すれば、仮釈放になり社会に出されますが、この時に多くの地域での支えが必要になってまいります。職業に従事する事が可能になった者の再犯率は低く、その支えに協力雇用主が必要になるとの事でした。

少年だけでなく、69歳を過ぎた高齢者の犯罪が多くなってきて、軽犯罪を繰り返すことにより、三度の食事と寝どころが確保され、安易に犯罪を犯しているのも現状だそうです。犯罪を未然に防ぐ事は大事ですが、再犯を予防していくのも大事になってきます。

高砂RCと青松RCは例年、年末に中学、高校生の意見をお聞きする会を開いており、この会を少しずつ大きくしていく事により、若者の意見に目を向け、また犯罪や非行の予防に、また立ち直りを支える地域になっていければと思いました。

社会には自分だけの事ではなく、世の中の安全を、また民間の人の力にて努力されている多くの方がいらっしゃる事に、改めて感銘した一日でございました。

## ◆本日のプログラム

### 卓話「風疹のはなし」 片嶋純雄会長

(片嶋会長の卓話後、時間の関係で山名克典会員にお話しをいただきました。)

最近になり風疹という名を報道でお聞きになる事が多かったかと思えます。妊婦が罹患する事による問題点が先に大きく報道されておりました。

御存じかと思えますが、風疹はウイルスです。ウイルスと細菌の違いはどうでしょうか？余りお考えになられた方も少ないかと思えます。細菌というのは、昔からみんな良く言うばい菌の事で微生物になります。微生物学の歴史においては1674年にオランダのレーウエンフックが顕微鏡観察にて細菌を見出した事



片嶋純雄会長

に始まり、1860年フランスのパスツールが生物学や醸造学における意義を唱え、1876年ドイツのコッホが医学における意義を明らかにして参りました。我々の体に入りこみ病気を引き起こすこの細菌は、我々の体の中に入り込んで細胞に取りついて参ります。細菌は一つの細胞を持っており、いわゆる単細胞にあたります。この細菌は、自分に合った条件の栄養、水分、温度があれば自分で分裂を行い仲間を増やしていきます。つまり、細菌は自分で増殖する力を持っております。一方ウイルスは、細胞よりずっと小さく、細菌の大きさは1~5  $\mu\text{m}$  (1  $\mu\text{m}$  = 1/1000mm) に対してウイルスは、20~100nm (1nm = 1/1000  $\mu\text{m}$ ) であり、約10~200倍ほどの大きさに違いがあります。ウイルスは、タンパク質の外壁と内部に核酸というDNA, RNAという遺伝子を持った単純な構造体で有ります。つまりウイルスは自分で細胞を持っておらず、ほかの細胞に入り込まなければ生きていけません。日本では当初、病毒と訳され、中国では今でも病毒とされているかと思います。ラテン語では毒液、粘液を意味する言葉から由来しており、古代ギリシャのヒポクラテスは病気を起こす毒という意味でこの言葉を用いているようです。我々人間の体の中に入りますと、細胞の中に入り込み、細胞に自分のコピーを作らせて参ります。つまりはこの細胞に入り込まなければ生きていけません。細胞の中で大量にコピーを作らせると細胞は破壊し、細胞の中から大量のウイルスが飛び出て、他の細胞に入り込み、同様に繰り返してまいります。

ですから細菌の場合は自分の細胞を持っておりますから、これを退治する薬は存在するわけです。この薬が抗生物質で、細菌の構造を利用して作用し細菌を攻撃する事が可能であるわけです。細胞の無いウイルスには抗生物質は効果が無いわけです。要は細胞の無いウイルスには効かない訳です。もしも薬剤でウイルスを攻撃するとすればウイルスの入り込んでいる細胞を壊してしまう事になって参ります。ウイルスを消滅させる薬剤は無く、ウイルスの増殖を抑える薬として、抗ウイルス薬が存在いたしておりますが、それは一部で、インフルエンザウイルス、ヘルペスウイルス、HIV、サイトメガロウイルス位でしょうか、他の多くの種類のウイルスには特効薬は存在していないかと思います。風邪に罹って薬を飲めば治るという事は無く、随伴して出てくる症状を抑えたり、炎症を抑える事により体の感じを楽にさせてあげる事は可能かと思います。ウイルスに対しては我々は自分の持っている治癒力にて治している訳です。

この風疹は、飛沫感染で潜伏期間は約14日から21日(平均16日~18日)とされており、その後に淡紅色の発疹が全身に出て参りますが、発疹同士が融合する傾向は認められません。一般には発疹は3日程度で消失するようですが、長引く事も有るようです。発熱、発疹、リンパ節腫脹を認め、3つとも揃わない事も有るようです。発熱は約50%に認め、耳後部、後頭下部、頸部リンパ節の腫脹が認められます。不顕性感染と言いまして、症状が出ないで罹ってしまっている人が約15%といわれております。近年長らく大きな流行は見られなかったのですが、今回は東京、神奈川と近畿、特に大阪、兵庫に発生致しました。

2004年の風疹流行を受けて緊急提言が出され、妊婦の場合には出産後にワクチンの接種が進められるようになりました。1回のワクチン接種による抗体陽転率は95%以上あると産婦人科ではされておりますが、如何なものでしょうか?もう少し低いとも思います。年数の経過とともに抗体が減衰してくる場合も有り、免疫増殖効果を目的として2回目の接種が始まりました。以前は中学2年生の女子だけに、その後男子にも接種する事となっておりますが、

一行政単位にて行う為、他の市町の私学に入学されると学校にては行われず、未接種の人が出ていたわけです。2006年からは麻疹風疹混合ワクチンの定期接種が導入され、1歳児と小学入学前の年長児（当該年度に6歳になる子）への2回接種が始まりました。

妊娠中の女性が風疹に罹患しますと、先天性風疹症候群として、出生児の先天性心疾患、難聴、白内障を主に合併してまいります。妊娠初期の感染では、先天性心疾患と白内障を、難聴に関しましては妊娠20週



山名克典会員

までの感染にて可能性が有るとされております。いわゆる胎盤の形成以前という事になります。この他にも網膜症、緑内障、肝脾腫、血小板減少証、糖尿病、発育遅滞などを言われております。

これら妊娠中の方が風疹に罹る事による胎児への影響を考慮してワクチンの接種を進められてきております。今多く報道され妊娠中の女性が風疹に罹患する事が危惧されている背景には、52歳未満の女性では定期接種の機会が有ったものの、特に26～34歳の方では定期接種の接種率が充分でなかった事があげられております。また風疹に対する免疫を十分に有していない女性が家庭や職場などの周囲の方から、妊娠中に風疹に感染する可能性もあります。このため妊娠を希望する女性や、不妊治療を受ける女性とその家族に対して、妊娠前の予防対策を行う事が重要になります。風疹はワクチン接種にて予防する事が可能で、1回の接種でも一般に十分な予防は可能と考えられておりますが、2回接種を行う事がより確実な予防を得る事が可能と思います。我々産婦人科医は、以前から感染症に対する考え方が、進んで検査を行ってまいりました。梅毒、B型肝炎、風疹、サイトメガロウイルス、ヘルペスウイルス、等から始まり、今ではC型肝炎、HIVの検査等妊婦さんには行っております。行政も本年度に入り風疹ワクチン予防接種費用の一部助成を始めて参りましたが、日本はまだまだワクチン接種に関する行政の方針が他国に比較すると遅れているかと思えます。

今現在でのワクチン接種種類と回数は、30回を超えるかと思えますが、まだ多く接種されるワクチン、予防接種が有り、子供の病気の中での感染性の病気の減少を国が考えていかねばならない時期は、とっくに来ているかと思えます。

妊婦への感染を抑制する為にとして、特に①妊婦の夫、子供及びその他の同居家族②10代後半から40代の女性（特に妊娠希望者又は妊娠する可能性の高い者）③産褥早期の女性、もちろん風疹に罹患した方、ワクチンを受けて抗体の確認された方は除かれます。

先天性風疹症候群にて出生された新生児は、診察した医師が保健所に届け出を行うことにもなっておりますし、今では、妊娠時の胎児の心臓を超音波にて検査を行うことも可能になり、生後の新生児の聴覚を検査するという時代になっております。皆様のお近くで妊娠中又はこれから妊娠していくお若い女性が居られましたら是非お声掛けをして頂ければと思います。

会長 片嶋 純雄                      幹事 高木 史郎  
例会日時 毎週金曜日12時30分より  
高砂ロータリークラブのホームページのURL

雑誌会報委員長 後藤 純次  
例会場 高砂商工会議所2階会議室  
[http://www.winwin.ne.jp/~takasago\\_rc/](http://www.winwin.ne.jp/~takasago_rc/)